

Top Message

ごあいさつ

課題克服への取り組みを
着実に継続し、企業価値の向上を
目指してまいります。



代表取締役社長

犬伏 泰夫

上半期の業績は、前年同期に比べ 増収増益となりました。

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

まず、当社グループの第156期上半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)における取り組みならびに連結業績についてご報告申し上げます。

当上半期の我が国経済は、資源・エネルギー価格の高騰と輸出の鈍化などを背景にした企業収益の悪化や、個人消費の低迷など、景気の減速が鮮明になり、後半には後退の懸念が深刻化してまいりました。海外においては、中国や中東、ロシアなどが緩やかに減速しながらも成長を維持する一方で、米国における金融危機の影響もあり、欧米の景況感は更に悪化しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、アルミ・銅関連事業や建設機械関連事業などの一部で需要の低迷に見舞われました。一方で、それ以外の事業の需要は総じて堅調に推移し、需要の着実な取り込みとコスト

ダウンの徹底、販売価格の改善に努めてまいりました。

また当上半期中には、将来に向けた施策として、国内では、当社の得意とする船舶用クランク軸の需要増に対応するため、高砂製作所の鋳鍛鋼工場の全般的な生産能力増強工事に着手したほか、製鉄所向け酸素製造装置などに使用されるターボ大型圧縮機の市場に本格参入していくため、大型試運転設備の新設にも取り掛かりました。このほかにも、新日本製鐵株式会社との連携施策の一環として、両社で発生する製鉄ダストをリサイクルし、還元鉄の生産・利用を行なうための共同出資会社の設立について合意いたしました。海外においては、オーストリアのフェストアルピーネ・クレムス社と自動車部品用途の超ハイテン材のロールフォーム技術に関する包括技術契約を締結したほか、上海における圧縮機製造会社の生産能力増強も進めております。

当上半期は、鉄鋼関連事業において、原材料の大幅な価格上昇に対応して鋼材販売価格への転嫁を進めたことなどから、売上高は前年同期に比べ1,571億円増収

の1兆1,917億円となりました。営業利益は、鉄鋼をはじめ各事業とも大幅なコストアップに直面しましたが、コストダウン活動を継続するとともに販売価格の改善に取り組んだことから、前年同期に比べ107億円増益の1,064億円となりました。また、経常利益は前年同期に比べ96億円増益の855億円、純利益は特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから、前年同期並みの462億円となりました。

このような業績を踏まえ、当期の中間配当につきましては、前年同期と同じ1株につき3円50銭とさせていただきます。継続的かつ安定した配当実施を基本方針に、業績や配当性向、将来の成長のために必要な投資資金、財務体質の改善状況などを総合的に勘案して決定いたしました。株主の皆様にはご理解を賜りたいと存じます。

課題克服への取り組みを着実に継続し、企業価値の向上を目指します。

中国や中東など、日本経済の支えともなっている新興国の経済は、減速感はあるものの依然成長していると認識しておりますが、今後につきましては、先進国の金融システムの動揺や景気の動向が、これら新興国の実体経済にどのようなインパクトを与えるか、極めて不透明であります。

こうした環境の下、当社グループは、需要を引き続き確実に取り込むことに加え、原材料価格の動向を睨んだ販売価格改善の実施、コストダウンや生産効率の向上などの収益維持・改善努力も一層強化、継続してまいります。さらに、新たな需要を取り込むための製品開発や、新鉄

源ビジネスなどの新たな事業への挑戦を行なっていくことも、当社が持続的成長を目指すうえで重要な課題だと考えています。

9月に金融不安が一気に噴出して以降、株式市場も激しく揺れましたが、当社グループとしましては、上記のような課題克服への取り組みを着実に継続すること、そして全ての事業にわたって、環境への配慮や法令遵守といった社会的責任を全うしていくことこそが、当社の企業価値の向上につながるものと考えております。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します